私が創る自然浴

取付説明書 ー 表面仕上げ材 ー

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警 告	● 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注 意	● 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	● 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ● 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	● 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。 ● 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
	● 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

注 意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 表面仕上げ材の塗布方法については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 私が創る自然浴本体の施工は、「私が創る自然浴-本体総合編（E131）」で施工してください。
- 私が創る自然浴収納庫の施工は、「私が創る自然浴-収納庫（E140）」で施工してください。
- 施工手順は、下記の「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

取付説明書区分表

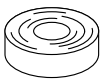
壁柱上部の施工手順	使用する取付手順書	取説コード
本体の施工 ガラスブロックの取付け	・私が創る自然浴ー本体総合編ー	E131
ブラケット固定材まわりの壁柱の仕上げ 塗布面の準備-1 表面仕上げ材の下塗り	・私が創る自然浴ー本体総合編ー ・私が創る自然浴ー表面仕上げ材ー	E131 E142
本体の施工 雨樋桁ブラケットの取付け	・私が創る自然浴ー本体総合編ー	E131

取付説明書区分表　つづき

壁柱の施工手順	使用する取付手順書	取説コード
本体の施工 　タイル張付け	・私が創る自然浴ー本体総合編ー	E131
表面仕上げ 　塗布面の準備-1 　塗布面の準備-2 　表面仕上げ材の塗布	・私が創る自然浴ー本体総合編ー ・私が創る自然浴ー表面仕上げ材ー	E131 E142
本体の施工 　竪樋の取付け	・私が創る自然浴ー本体総合編ー	E131

収納庫の施工手順	使用する取付手順書	取説コード
収納庫の工事 　タイルの張付け	・私が創る自然浴ー収納庫ー	E140
表面仕上げ 　塗布面の準備-1 　表面仕上げ材の塗布	・私が創る自然浴ー表面仕上げ材ー	E142
収納庫の工事 　床面の仕上げ	・私が創る自然浴ー収納庫ー	E140

＜施工上のご注意＞

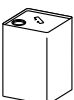
⚠注意

- 施工中に湿度が85％以上になる環境での施工は、絶対に止めてください。湿度が高い状態での塗布は、塗膜のふくれやはく離の原因になります。
- 作業に使うコテ、器は、サビ・鉄分が出ない物を使ってください。鉄粉が塗料に混じるとサビが塗膜表面に浮き出ることがあります。
- 塗布面が5℃以下での塗布は、絶対に止めてください。乾燥が極端に遅くなり、塗膜が硬化しません。
- 外気温が5℃付近で塗布する場合は、養生やヒーターを使って塗布面を5℃以上に保ってください。
- シーリング材に直接塗布する場合は、弊社指定のシーリング材を、使用してください。密着しなかったり、シリコンで塗膜の密着力が悪くなります。

■梱包明細表

1 下地調整材

名　　称	略　　図	員 数
主材		1
硬化材		1
取付説明書	ー	1

2 ファイバーテープ

名　　称	略　　図	員 数
ファイバーテープ		1

3 シーラー剤

名　　称	略　　図	員 数
シーラー剤		1

4 表面仕上げ材

名　　称	略　　図	員 数
表面仕上げ材		1

5 表面仕上げ材

名　　称	略　　図	員 数
表面仕上げ材		1

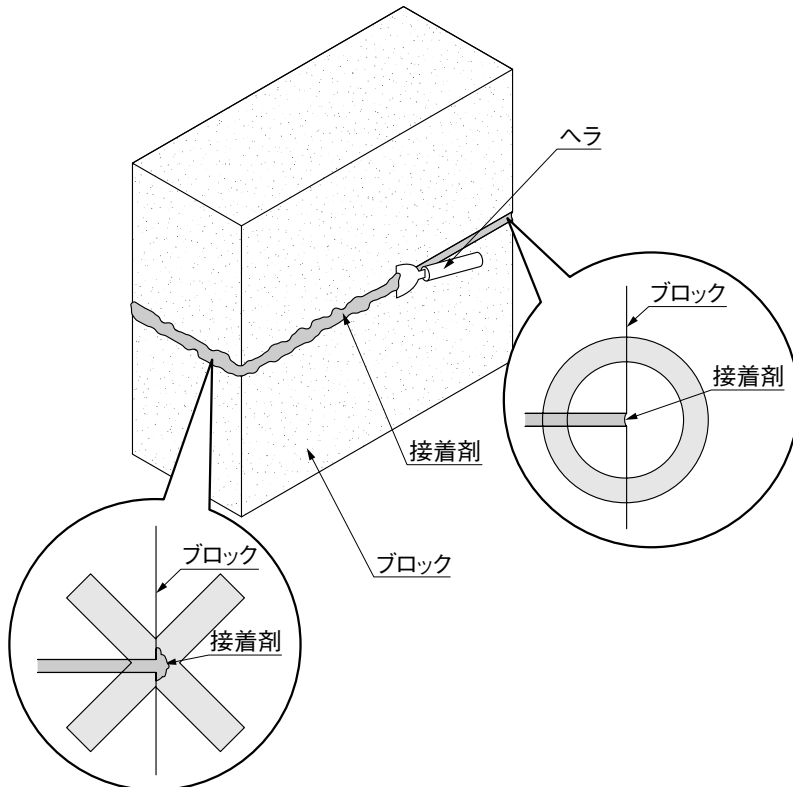
E142_200310A

1. 塗布面の準備-1

※本体総合編取付説明書（E131）「4.10ブラケット固定材まわりの壁柱の仕上げ」、本体総合編取付説明書（E131）「4.23表面仕上げ材の塗布」、収納庫取付説明書（E140）「7.塗り仕上げ」の表面仕上げ材の塗布作業です。

1-1 塗布面の乾燥

❶塗布面が濡れている時には、十分に乾燥してから作業を開始してください。

1-2 塗布面の清掃

❶塗布面に付着している土砂、油分、レイタンスを、ワイヤーブラシやサンドペーパーで除去してください。

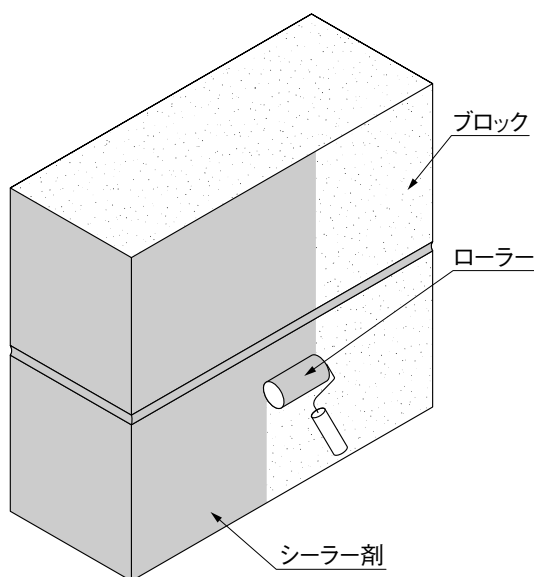
ポイント

- 油分が付着している場合は、できるだけ油分を拭き取ってください。塗布面の汚れは塗膜の密着不良の原因になります。

❷ブロック積上げ施工時に継ぎ目に使った接着剤のはみ出しは、全て削り取ってください。

補 足

- 接着剤に塗布する面が多くなると、塗膜のふくれや剥離の原因になります。

1-3 シーラー剤の塗布

❶シーラー剤の容器を振って十分に混合してください。
❷ローラーや刷毛で均一にブロック表面に塗布してください。

ポイント

- シーラー剤の塗布量は、0.15Kg/㎡～0.2Kg/㎡目安で塗布してください。
- シーラー剤塗布後、2時間以上空けてから表面仕上げ材を塗布してください。

補 足

- 歩留まりを考えて、一缶あたり7㎡が目安になります。
- 分離していても、品質には問題はありません。

2. 塗布面の準備-2

※本体総合編取付説明書（E131）「4.23表面仕上げ材の塗布」、収納庫取付説明書（E140）「7.塗り仕上げ」の表面仕上げ材の塗布作業です。

2-1 下地調整材の混合

※下地調整材は、主材と硬化材を混合してから2時間以内に使い切ってください。

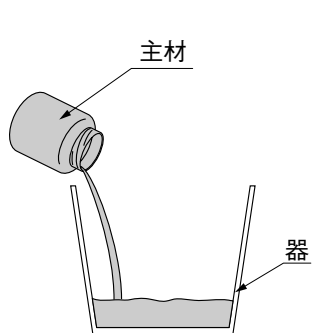
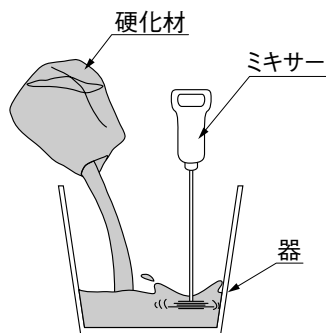



図2-1　図2-2

❶ 主材を器に入れてください。（図2-1参照）
❷ 硬化材を器に入れながら、ミキサーでよく混合してください。（図2-2参照）

2-2 ブロック継ぎ目の手直し

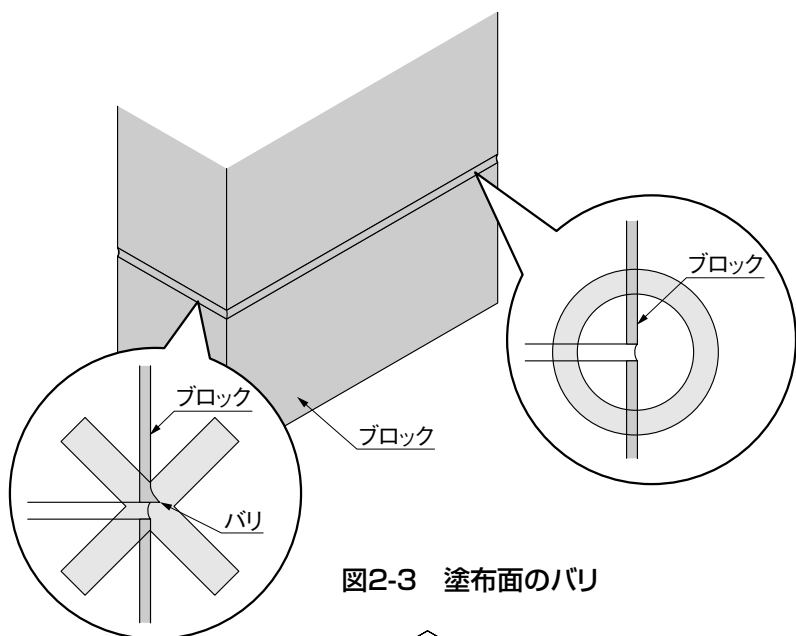



図2-3　塗布面のバリ

❶ ブロックの継ぎ目のバリは、フラットになるまでヤスリを使って削ってください。（図2-3参照）

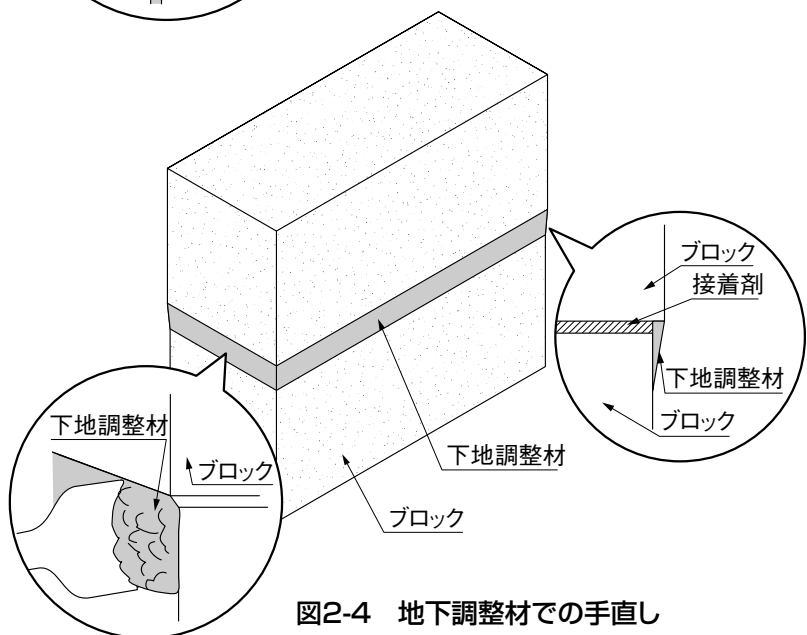



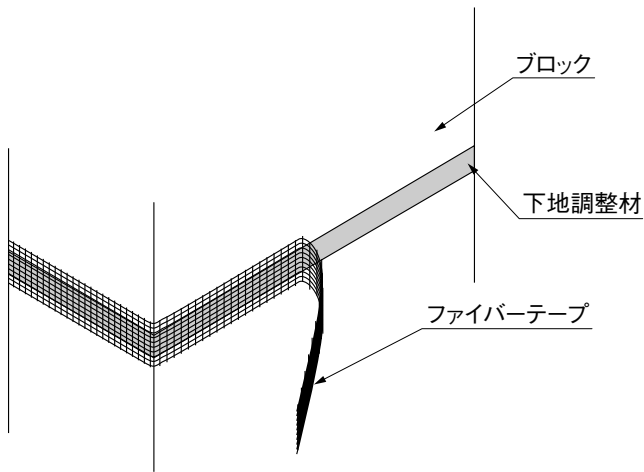
図2-4　地下調整材での手直し

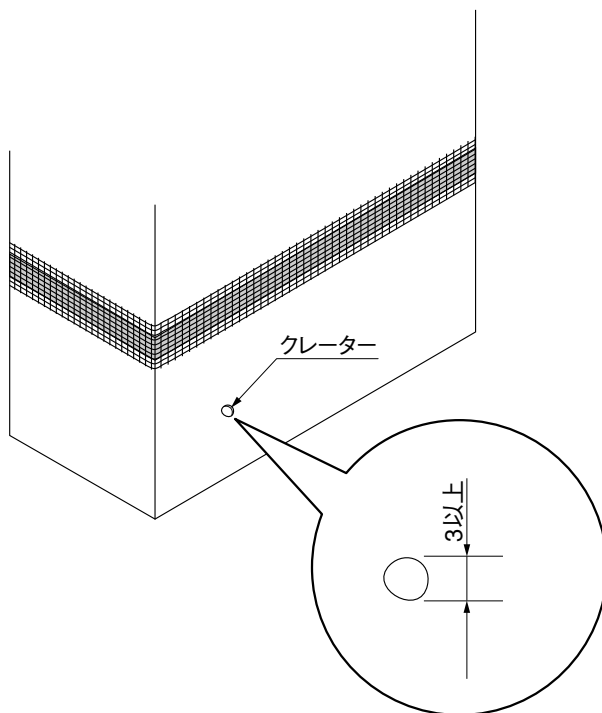
❷ ブロックとブロックのズレやすき間は、下地調整材でフラットに埋めてください。（図2-4参照）

ポイント

- 下地調整材をブロック上段に塗布しないように注意してください。塗膜の盛り上がりの原因になります。

❸ 下地調整材を塗布後、6時間以上養生してください。
❹ やすりやヘラを使って下地調整材表面をフラットにしてください。

2-3 ファイバーテープの張付け

❶図のようにブロックのつなぎ部分にファイバーテープを張付けてください。このとき、ファイバーテープが盛り上がったり、しわが発生しないように注意してください。

2-4 フラット面のクレーターの手直し

❶ブロック表面の穴径3㎜以上のクレーターは、下地調整材を使って埋めてください。

ポイント

- クレーターは、表面仕上げ材の塗布時にエアー溜まりになり、ふくれの原因になります。

E142_200310A

3. 表面仕上げ材の塗布

※本体総合編取付説明書（E131）「4.23表面仕上げ材の塗布」、収納庫取付け説明書（E140）「7.塗り仕上げ」の表面仕上げ材の塗布作業です。

3-1 表面仕上げ材の下塗り

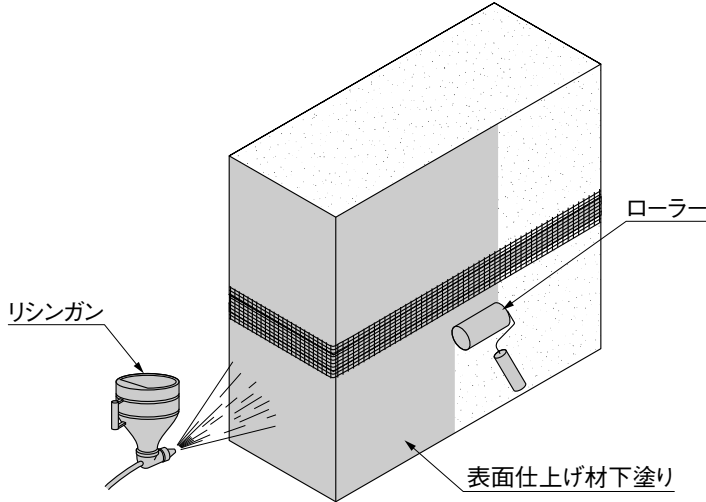
※本体総合編取付説明書（E131）「4.10ブラケット固定材まわりの壁柱の仕上げ」にも実施する塗布作業です。

❶ 表3-1を参照して表面仕上げ材の下塗りを行なってください。

表3-1　表面仕上げ材の下塗りの道具別条件

塗装方法 / 項目	リシンガン塗布	ローラー又はコテ塗布
材料の配合重量比	表面仕上げ材:水＝100:5	表面仕上げ材:水＝100:3
道具	リシンガン	左官こてまたは、K−1ローラー
目標目付け量	1.0Kg〜1.2Kg／㎡	1.0Kg〜1.5Kg／㎡
その他条件	エアー圧4〜6Kg／㎠	――――

3-2 表面仕上げ材の上塗り

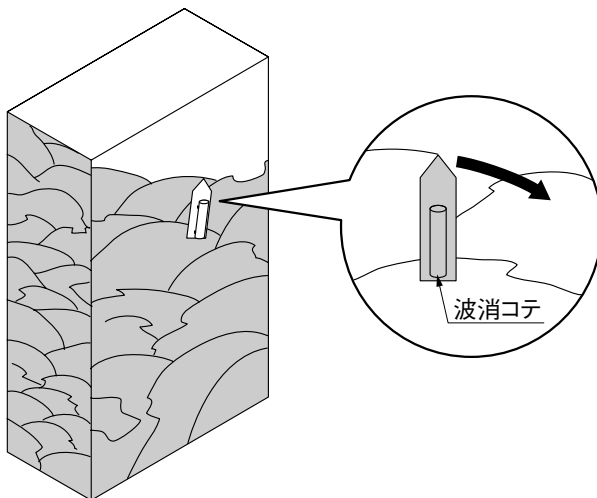
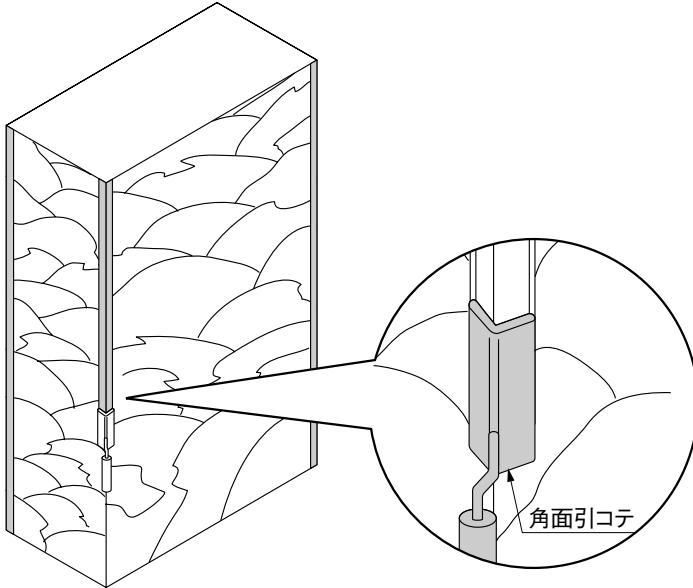
※下塗り後の上塗工程の間隔は、2時間以上あけてください。

❶ 表3-2を参照して表面仕上げ材の上塗りを行なってください。
❷ 主材塗布後30分以内に、波消コテを使って半円を描きながら、筋のパターンをつけてください。

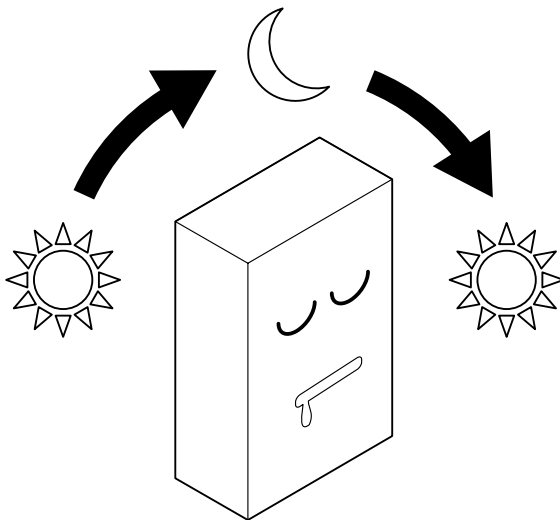
表3-2　表面仕上げ材の上塗りの条件

塗装方法 / 項目	コテ塗布
材料の配合;重量比	表面仕上げ材:水＝100:2
道具	波消コテ
目標目付け量	1.5Kg／㎡〜2.0Kg／㎡

ポイント

- 表面仕上げ材上塗り部の仕上りについては、ウエーブ仕上げを基準にします。
- 表面仕上げ材の1回に塗布できる厚みは、最大2㎜までにしてください。
- 表面仕上げ材の最終厚みは3㎜以上にしてください。
- 夏場の乾燥が速い場合は、表面仕上げ材に水3%までを加えて、塗材の硬さを調節してください。

3-3 コーナー部の仕上げ材の上塗り

❶表面仕上げ材で仕上げた面の角部を「角面引コテ」で直線に模様を入れてください。4角面全てに実施してください。

4. 養生

❶表面処理材を塗布した後は、24時間以上養生してください。

ポイント

- 養生中に、決して雨、露をかけないでください。

E142_200310A